第１号様式

動　物　実　験　計　画　書

京都産業大学　学長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 受　付　番　号 | №　　　　－  |
| 提　　出　　日 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 動物実験責任者 | 学部･学科 |  |
| 氏名 |  |  |
| 内線 |  |

京都産業大学動物実験規程第５条に基づき、下記動物実験計画について申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 実験テーマ | **（新規・継続）** |
| 実験目的 |  |
| 実験期間 |  | 年 |  | 月 |  | 日～ |  | 年 |  | 月 |  | 日 |  ※終了日は当該年度末　（3月31日)までとする |
| 実験内容 | 1 薬物・生物製剤効果　　　 7 生理機能　　　　　　13 人工臓器2 臓器・血清など採取　　　 8 移植　　　　　　　　14 遺伝・育種3 免疫機能　　　　　　　　 9 治療・技術の開発　　15 行動観察4 発癌機序　　　　　　　　10 ホルモン　　　　　　16 その他5 癌治療（薬物等効果）　　11 代謝・再生（　　　　　　　　　　　）6 炎症　　　　　　　　　　12 毒性　　　　　　　　 |
| 実験方法 |  |
| 共同研究者又は実験補助者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  | ※記載欄が不足している場合は別紙名簿を要添付 |
| 使用予定動物種及び匹数 | 動物種 | 系統 | 週令 | 体重 | ♂(匹） | ♀(匹） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 飼育場所 |  |
| 実験場所 |  |
| 安全管理上注意を要する実験 | いいえ　　はい1 遺伝子組換え実験：□申請中　　□承認済（承認番号 ）2 病原微生物投与　　　　　 3 毒物・発癌物質投与　　　　　 4 RI実験 |
| 動物実験を必要とする理由 | 1 代替手段がない　　　　　 3 代替手段の経費が莫大2 代替手段の精度が不十分 4 その他（ ） |
| 想定される動物への苦痛度分類（苦痛分類「SCAWのカテゴリー」を参照のこと） | B | 脊椎動物を用いた研究で、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作 |
| C | 脊椎動物を用いた実験で、動物に対して軽微なストレスあるいは痛み（短時間持続する痛み）を伴う実験 |
| D | 脊椎動物を用いた実験で、避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験 |
| E | 麻酔していない意識のある動物を用いて、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置 |
| 苦痛排除法 | 1　軽微な苦痛の範囲内ため特に処置は講じない2 実験の都合上24時間以上の保定・拘束はやむを得ない3 麻酔薬等を使用する（薬剤名： ）4　人道的エンドポイントを適用する5 その他（ ） |
| 実験終了後の処置 | 1　麻酔薬等の過剰投与による安楽死（薬剤名： ）2　炭酸ガスによる安楽死3　その他（ ） |
| その他補足事項 |  |

※以下委員会記入欄

|  |  |
| --- | --- |
| 動物実験委員会記入欄 | 審査日：　　　　年 月 日**可**　　　 **条件付可**　**不可**（理由） 1　遺伝子組換え実験の承認がされれば可 2　その他： |
| 学長承認欄 | 承認日：　　　　年 月 日　　　　　学　長　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |